

令和6年度(第2期)第1回日野市指定管理者候補者選定委員会 議事録

1 概要

日 時	令和6年11月28日(木) 10時00分から12時00分まで
場 所	日野市役所本庁舎 5階 504会議室
出 席	【委員】萩原委員長(健康福祉部長)、赤久保副委員長(企画部長)、竹村委員(総務部長)、松田委員(福祉政策課長) 【応募事業者】社会福祉法人 日野市社会福祉協議会
施設所管課	(福祉政策課)小柳係長、谷口係長
事 務 局	(企画経営課)松井主幹、永尾
議 事	● 委員長・副委員長の選任 ● (仮称)日野市立多摩平福祉支援センターの選定について ➤ 社会福祉法人 日野市社会福祉協議会
記録作成	(企画経営課)永尾
配布資料	応募書類一式、採点表等審査資料一式

2 要点録

(1) 委員長・副委員長の選任

○ 事務局(企画経営課)

委員長は日野市指定管理者候補者選定委員会設置要綱に基づき主管部長である健康福祉部長とした。
副委員長は互選により、企画部長とした。

(2) (仮称)日野市立多摩平福祉支援センターの指定管理者の選定について

① 施設概要説明

○ 施設所管課(福祉政策課)

施設の概要及び運営方針等について説明。

■ 委員

指定管理料の提案額は採点基準には含まれていないのか。

○ 施設所管課

採点表のフォーマットは共通で、そうした項目は設定されていない。

○ 事務局

採点表中の2、事務効率経費削減の工夫の項目の中で、具体的な選定内容として各課が盛り込むことは可能として想定している。

■ 委員

指定管理料の中に、ここに配置する人員の人件費は含まれているのか。

本事業者は市から財政援助団体として人件費の補助をしていると思われるが、どのように整理されるか。

○ 施設所管課

指定管理料のほかに業務委託をセットで行うが、補助に係る人件費は委託部分になる。

指定管理料には、管理業務に要する人員の人件費は含まれるが、補助対象からは除かれる。

■ 委員

では、管理の人員は専任で雇うのか。

○ 施設所管課

新規で雇う方もいるのかもしれないが、既存職員が兼ねることも想定される。

○ 事務局

指定管理については指定管理に係る部分と、事業者の運営部分とで会計を明確に区分することになっている。

したがって、そうした区分により明確になった本指定管理の人件費については、事業者への運営費補助は充当されないものと認識しているが、相違ないか。

○ 施設所管課

その認識。

② プレゼンテーション及び質疑応答（社会福祉法人日野市社会福祉協議会）

<社会福祉法人日野市社会福祉協議会入室>

◇ 日野市社会福祉協議会

提案内容についてプレゼンテーション、説明。

■ 委員

今現在も地域の関係機関と関わりをもってハブ的な機能を果たしていると思う。

重層的支援事業としてこれから取り組まれることと思うが、今までとの違いとして描いているものがあれば教えていただきたい。

◇ 社会福祉法人日野市社会福祉協議会

今も関係性はできているが、このできている関係性を重層的支援事業の中に組み入れながら進めたい。

包括的相談支援事業のところは生活困窮者自立支援制度など、いろいろな組み合わせがある。

交通でいうと、ターミナルがあって、色々な路線がつながっていて、色々なところから入ってきて色々なところに流れていく。それと同じで、整理する拠点に日社協（日野市社会福祉協議会）がなって、単なる相談ではなくて、その方の社会参加に繋がったり、実際に引きこもりの状態にある方の居場

所事業などに繋げたりするなど、事業に応じて整理して、関係するところをよく見極めながらつないでいきたいと考えている。

■ 委員

つなぐ場としては、重層的支援会議のような場で連携を図っていくということか。

従来は市が主体だったが、そうではなく、日社協が会議体を主催してハブになっていく、ということか。

◇ 社会福祉法人日野市社会福祉協議会

ご認識のとおり。ただ、あくまでもイメージなので、役割分担に当たっては福祉政策課とよく協議していきたい。

役割としては日社協が中心を担っていく意識はある。

■ 委員

実際に、こちらの指定管理に係る人員数として、説明にあった全体の人員と要員配置計画書上の人員に齟齬があったが、いずれが正しいか。

◇ 社会福祉法人日野市社会福祉協議会

職員が退職した関係で、30が正しい。計画上の31は誤りであり、1名減となっている。

■ 委員

地域のハブになっていく、という話があった。

つないだりつなげたりするためには、地域の方がどういう想いをお持ちなのか、それを吸い上げて、地域の人と同じ想いを持っている人などに繋げていく、ということになる。地域の声を拾い上げることが重要だと思う。

今回、その指定管理の中でハブになっていくために、地域の声を吸い上げていくための取り組みについて、お考えをお聞きしたい。

◇ 社会福祉法人日野市社会福祉協議会

資料中に「想定される協力者」と記載しているように、いろんなところとつながっている。

そのつながりの中で、日社協だけで地域の想いを汲み上げるのは不可能なので、地域団体とつながり、そこから情報をいただく。

その情報の中に想いが入ってくるように、すでにネットワークができている。

また、コミュニケーションが広がる中での気づきもある。しっかりとトレーニングを積んでいきたい。

■ 委員

日社協として現在やっている事業と、ご提案の自主事業には重複している部分があるようにも思う。募集要項の中で自主事業とあるが、指定管理業務としての事業と切り分けた方がいいように思うが、現在やっている事業と重複はないか。

◇ 社会福祉法人日野市社会福祉協議会

今現在行っている事業も、ご提案事業の中に含まれている。

福祉支援センターの指定管理事業を行う中で、1階のフリースペースをいかに市民の方に使っていただくか、ということがある。

ここに加わってくる市民の方が、貸し部屋ではなくその施設の空間を使って活動をしていただくように使っていただく考え方でご提案している。

指定管理の仕事と事務所の仕事を完全に線引きして分けるというのは難しく、多少重なる部分はどうしても出てきてしまう。

■ 委員

新たな提案事業は自主財源でされるということによろしいか。

◇ 社会福祉法人日野市社会福祉協議会

ご認識のとおり。

ただ、提案事業の一部は、日社協の事業というわけではなく、元々地域の方による活動だったものが、コロナ禍を経て回数が減ってしまったというところでご要望を受け、サポートする立場から実施しているもの。

つまり、職員がべったり関わっているというよりは、場所取りやボランティアさんに運営を担っていただくなどのお手伝いをしているというのが実態で、地域の方が発起人となって、地域の方が活動する、ということになっている。

よって、明確に事業計画で立ち上げるというものではないし、経費もほぼない。

そうした地域の方も新たな場所を求められている場合もあり、多摩平の方にもそうした場を作っていけるのでは、ということを考えている。

■ 委員

自主事業というよりは、スペースを貸してそこで展開をしてもらおう、ということか。

◇ 社会福祉法人日野市社会福祉協議会

市民の方が主体的に行っていただく、というもの。

■ 委員

地域自体が、新しい建物、住宅の地域だが、建物自体は新しくても地域住民は以前からお住まいの方も多い。また、多世代が混じりあっている地域でもある。

そうすると、このような施設を作るに至った経緯として、ハブ機能をもっていろんなことを展開してほしいというまちづくり協議会の想いもあろうかと思う。

現に多世代の交流が減少しているということが社会のいろんな問題を生んでいると考えているが、大学や高校等との連携はあるか。

◇ 社会福祉法人日野市社会福祉協議会

高校生、中学生については、夏のボランティア体験学習というかたちで、長期の休みの期間にボランティアを派遣する事業を行っている。

最近では、明星大学の福祉実践学科の学生向けに社会福祉法人ネットワークというものをやっている。

移動支援従事者の研修受講生を募集するというを目的に、授業を2コマいただいて、大学生と日社協と社会福祉施設をつなぐことをやっている。今後も続けていきたい。

実践大学については、ボランティアサークル等と従来からのつながりがあるが、実践大学も施設と近距離にあるということで、大学の先生方とも、大学生の社会教育の場ということで、交流スペースなどを活用できないか、スタートアップなどの場などにできないか、など様々ご相談をいただいている状況。

そこで、試験的に何かやっていくことで、地域住民の方との接点となるようなことを考えていきたい。

■ 委員

小学生などの子どもの世代だと、親も関与してくる。

貧困家庭などでは、何か体験させてあげたくてもその場に行くまでが大変だから行かせられない、というケースも考えられるが、色々なお子さんが入ってこられるような取組のお考えはあるか。

◇ 社会福祉法人日野市社会福祉協議会

日社協として具体化しているものはない。

大学生と親子、などの組み合わせはいかようにも考えられると思うので、今お話しいただいたように、子どもを切り口にしたところを考えていきながら、色々なところとつながることによって考えていきたい。

子どものところは、取組が薄いところもあったので、関係機関と連携して厚くしていきたい。

これまでの実例として2点紹介させていただきたい。

ひとつは「ほっとも」の関係で、地域の星空に詳しいガイドの方に来ていただいて、プラネタリウムを見てもらう事業を行った。例えば、そういった事業を地域で、貧困や障害の有無に関係なく集まっていたことが考えられる。

地域で専門的な方とつながっている、またいろいろなお子さんにお声がけができる我々だからこそできる方向性だと思う。

次に、日野市の委託事業があって実現したことはあるが、日野中央公園のユニバーサル遊具で、ハートフルプロジェクトを受けた子どもと福祉学校の子どもたちが遊ぶ企画を実施したことがある。そうした障害者の方との交流も考えていきたいと思っている。

■ 委員

個人情報の保護の管理体制について伺いたい。

職員の周知、書類の保管方法、電子データの不正アクセスなどに対する措置をお聞きしたい。

◇ 社会福祉法人日野市社会福祉協議会

職員に対しては、年に1回、全職員を対象としたセキュリティ研修を実施している。

紙ベースの個人情報については、鍵のかかるロッカーに保管している。

多摩平福祉支援センターを管理できることとなった場合は、専用の場所もあるので、二重ロックがかかる状態で保管される。

データの部分については、外部のネットワークに強い業者に委託をしながら設備を更新している。現状、外部から侵入がかなり難しい設備を取り入れて、内部でのデータのやり取り、3か所の拠点間はVPNを構築してやり取りをしている。データ管理についても手立てを講じている。

■ 委員

職員がデータを持ち出すことはできるのか。

◇ 社会福祉法人日野市社会福祉協議会

持ち出しをしないよう、教育をしている。

■ 委員

例えば、USBメモリに個人情報を入れて持ち出して、それを紛失するという事案がある。市では禁止しているが、日社協の考え方は。

◇ 社会福祉法人日野市社会福祉協議会

現状、USBメモリを禁止してはいない。個人情報の持ち出しは禁止となっている。

■ 委員

私物のUSBメモリを挿すことを禁止するなど徹底されているか。

◇ 社会福祉法人日野市社会福祉協議会

年に1回、職員に対して、私物のUSBを使わないということで教育をしている。

■ 委員

指定管理を実施するにあたって、コスト的な部分の優位性、強みは何か、教えていただきたい。

◇ 社会福祉法人日野市社会福祉協議会

施設自体がまだこれからできる施設なので、コストの低減などは示しづらい。中央福祉センターは老朽化しており、階段昇降機が完全に止まるなどした。修繕費がかかってくるが、対応できない場合は市にお願いすることもあるところ。今回のご提案としては、修繕料を現状の他施設と比べると抑えさせていただいているところがある。人件費の部分も、法人運営の部分と一体的にされるので、だいぶ減らせたように思う。

■ 委員

駐車場が4台、というご説明があった。

ハブとなることを考えると、いろんな方が集まることが想定され、4台では心もとない気もするが、場所を借りるめどなどがあるのか。

◇ 社会福祉法人日野市社会福祉協議会

ハンディキャップ事業の車と、日社協の車については、URと福祉政策課も入って場所を調整しているところ。有料となる見込みだが、一定のめどは立てている。

ただ、来館者用としては検討できておらず、PRの際に公共交通機関の利用をお勧めする、イオンなどを利用させていただくなどでの対応となろうかと思う。混乱の無いようにしたい。

■ 委員

日社協には専門職の方も多いが、専門的知識の向上、ブラッシュアップはどのようにされているか。

◇ 社会福祉法人日野市社会福祉協議会

研修については、日社協が独自に行うということは難しい。

色々な研修があるが、東京都社会福祉協議会の方で幅広く研修をしている。

市でいうところの市町村職員研修所での研修のようなイメージで、東京都社会福祉協議会が様々な専門分野の研修をされているので、そういったところに積極的に参加している。

フレイル予防の関係などで、管理栄養士さん、理学療法士さん、保健所の保健師さんなどとのつながりが増えている。

社会福祉士が組織としては多い。社会福祉士の専門性は社協同士の研修の中で進む部分があるが、他機関とつながるといことは、他機関の専門性への理解にもつながる。例えば理学療法士の方がどのような専門的知識があるのかなど、私たちも十分理解しないと市民の方へのご案内が難しくなってしまう。

そこで、保健所の研修や、理学療法士の協会の方の研修にも、必要に応じて参加をさせていただき、そういった部分の専門性も高めていくように研鑽をしている。

<社会福祉法人日野市社会福祉協議会退室>

③ 主管課質疑応答

■ 委員

人件費は、指定管理のために日社協として増員しているということか。

○ 施設所管課

開館の時間を、曜日を1日増やして、土曜日の開館がある。

日社協の勤務体制を変えていかなければいけない部分があって、1名増やすことになっている。

職員は外に出る方も多いが、昼間に空になってしまうといけないため、来所対応に専門職員としてその1名を充てるということでの増。

■ 委員

その方は正職か。

○ 施設所管課

臨時職員と思われる。

■ 委員

業務量と人件費の精査をお願いしたい。

■ 委員

要員配置計画の3名が兼務で、地域のコーディネート業務経験者、という方が新規採用か。

○ 施設所管課

そのように認識している。

フリースペースの活用については、この施設が地域から単なる貸し館はいらない、と言われている中で、日社協のサポート付きのスペースである、ということが大きな意義になっている。

その対応のためにも、相応の方の配置が必要ということ。

■ 委員

人件費が安すぎるようにも感じる。最低賃金は大丈夫か。

○ 施設所管課

勤務時間の関係と思われる。

先ほどのとおり、フリースペース対応の意味合いが強いので、土曜日を中心に、時間を制限して配置していくということなのかなと思う。

○ 施設所管課

昨日、地域福祉計画の委員会が開催された。

計画を策定した後、いかに実践していくかが課題。その中で、他自治体も含めて、社協の役割が重要であるという認識が多数であると考えている。

是非、地域福祉計画で目指す地域共生社会、重層的支援体制整備事業の充実に向けて、日社協には積極的に活動していただきたいという議論がされたことをご報告したい。

■ 委員

事務所がこの施設にあって、指定管理者と、委託事業と、3つが混同されてしまう可能性がある。

日社協の力の入れ方も偏ってしまうおそれがあるので、委託の中で出す事業の管理を主管課にはしっかりやっていただきたい。

<施設所管課退室>

④ 意見交換

■ 委員

特になし

⑤ 採点

■ 委員長

採点、提出いただき次第終了。

(閉会)